

ココタウンデイサービスセンター

症 例 概 要 利 用 者：90代 男性 要介護1

利用期間：2021年12月 ～ 2025年 1月

経 過：

6年前に奥様が他界、さらにコロナウィルスの流行に伴い外出の機会が減ってしまいました。曜日の理解が曖昧な日が増え、主治医の勧めで介護保険を申請し要介護1の認定を受けられました。同居する次男様は日中就労の為、デイサービスにて他者交流をし、刺激を受け生活リズムを整えて欲しいとご要望あり、2021年12月より利用開始、趣味であった川柳や麻雀など前向きに活動に参加され、生き生きされるようになりました。

内 容

利用以前は地域のグランドゴルフやカラオケ、麻雀にてお仲間との交流がたくさんありましたが、コロナの流行により「全部無くなってしまいつまらない毎日だよ」とお話しされていました。同居する次男様もデイサービスに通う事で他者交流で刺激を受け余生を楽しく笑顔で過ごして欲しいとの意向もあり、デイサービス利用開始となりました。

利用当初は、笑顔もなく表情が硬かった印象で、他利用者さんからも「ぶっさらぼうで嫌だ」などのお声が出ることや昼食後は必ず臥床しデイサービスに来ても活動的とは言えない日もありました。

ご本人の笑顔を引き出す為、趣味や好きな事を聞き取りし他利用者さんにも同様の趣味を持っている方はいないか調査しました。すると麻雀をやりたい方が数名おられたため、毎週金曜日の昼食後、麻雀大会の開催を決定。昼食後に臥床していた方が麻雀の日は寝ないとおっしゃり麻雀のテーブルに着くようになり、今では麻雀大会のリーダーになる等とても楽しむようになりました。

また、手帳に歌いたい曲のリストを書いてカラオケに参加されるようになり、得意の川柳の発表ではとても生き生きとした表情で先生となって発表してくださいました。

今では笑顔も増え、ある朝ご自宅にお迎えに行くと、「今日はデイサービスの日か!退屈しない日だな!」と満面の笑みでおっしゃってくださいます。

ご家族、ご利用者のニーズを捉え、ご本人の喜びや達成感、楽しみに繋げる事ができたことを私たちの喜びとし、これからもたくさんの輝く笑顔の瞬間に立ち会えるようにスタッフ一同 Our Teamで取り組んでいきます。